

同友しずおか

2019

6

VOL.487

私の逸品

(株)旭紙工所

仲間に感謝。地域活性化に
「美」でチャレンジ



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

2019年度 活動方針

◆企業づくり

- 経営指針を成文化し、すべての人が生きる企業をつくろう
- 経営者と社員が共に育つ企業風土を確立し、時代の変化に対応できる強靱な企業になろう

◆地域づくり・経営環境づくり

- 中小企業振興基本条例の学びを深め、地域づくりの推進役となろう
- 関係機関との連携を深め、経営者の声で経営環境を整えよう

◆同友会づくり

- 仲間づくりを推進し、1200名会勢を早期に実現しよう
- 真の経営課題に気づく学びあいにより、活力ある同友会をつくろう
- 同友会理念の学びを深め、実践で語れる会員を増やそう

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1079 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
ほし や 星谷 宣安	星谷石油(有) ガソリンスタンド業	富士宮	宇佐美健介
いけ だ 池田 ゆうすけ 佑介	(株)nanairo 福祉事業 (就労継続支援B型事業)	静岡	伏見 修
おお た 太田 まさき 昌樹	(有)はじめコーポレーション 不動産業、リラクゼーションサロン運営 (不動産の売買・仲介・管理、もみほぐし店)	静岡	米倉 睦夫
はら だ 原田 しゅんいち 俊一	(株)アート工房美彩 建築業 (建築塗装)	静岡	三木 清夫
ふか ざわ 深澤 ひろし 裕	(有)ルーフテック静岡 屋根工事 (屋根板金工事、塗装全般、内装工事、外構工事、オール電化、太陽光発電工事、メガソーラー事業、総合解体)	静岡	杉山 道央

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



仲間に感謝。 地域活性化に「美」で チャレンジ

(株)旭紙工所 (富士宮支部)

常務取締役 渡邊 美穂氏



渡邊 美穂氏

危機感から新規事業展開

年々、IT情報化が加速し、ペーパーレス化もあり経営に危機感を抱き、新しい付加価値のある商品やサービスが打ち出せないかと模索してきました。その中で、同社敷地内

富士宮市内で紙加工業を行う渡邊美穂氏(株)旭紙工所)は、元々は金融業界の仕事についていましたが、同社の社長でもある父の一人娘ということで、事業承継も視野にいれ入社しました。そして多くの企業を見てきた経験を活かし、客観的な視点で、経営の改善改革に取り組んで来ました。同友会には2013年に入会し、徐々に役員を経験しながら同友会での学びを深めています。

には毎分200リットルが湧き出る地下水源や、食品包装紙加工で高い基準のクリーンルームや設備などを整えていた為、化粧品関連のOEM事業を始めました。OEM製造で成果を上げていきましたが、OEMではコスト面で強みを出せないこともあり、自社商品を作っていきたい、そんな想いが日に日に強くなってきました。

経営面また、社員活性化、地元の知名度を上げるため、メーカーを目指す化粧品会社「ホーミーコスメティクス(株)」を設立しました。もちろん代表取締役は渡邊氏が就任しました。以前から「富士宮市のコノハナサクヤ姫」「富士市のかぐや姫」という神話・物語があることに着目し、姫「美」に関わるブランド展開をしていこうと「ふじのふもとの姫beauty」を考案。オリジナルの溶岩石けんを第一弾で作成。富士宮市観光協会主催の2018年度お土産物コンテスト「それ、みやげにして宮」で奨励賞を受賞する快挙で



話題となりました。

その後、第二弾商品のアイデアとして着目したのは、美に良い成分が含まれるとされる「お酒」でした。富士宮はその環境から多くの地酒の蔵があります。その一社に「高砂酒造」があり、高砂「結婚式の夫婦の宴席」恋愛というイメージから、日本酒を使った化粧水を発案。特別配合のお酒エキスをサクラエキスを利用し、お祝いコスメとして開発したのが今回の逸品でもある「富士高砂美水」で、今年6月には発売開始、夏には、富士宮市内の商店街に体験・販売できるショップをオープン準備中です。

感謝の気持ちしかない

こうしてみると、順風な流れのように見えるものの、その裏では様々な苦労がありました。そもそも、化粧品の新規開発は渡邊さんにとって未体験ゾーン。開発、許可申請などすべて勉強しながら手探り。どのように展開していくかの悩みもありましたが、化粧品業界に精通した方との出会いもあり、渡邊さんの強い想いに共感してくれたことで連携し、プロジェクトは一気に加速しました。また、富士宮支部の会員内外の有志で「美のまちプロジェクト」も立ち上げ、地域の「美」にまつわるエピソード、ストーリー作りにも取り組み始めています。渡邊氏は「ほんとうにありがたい。感謝の気持ち。」と、こうしたご縁を活かしてやっていこうと、非常に明るく元気に前向きです。この取材に訪れた富士宮支

部メンバー6名も「未体験ゾーンを切り拓く渡邊さんのやる気、行動力がすごい。自分たちも、より、考えて行動していかなくや」と強い刺激を受けました。そういう意味では、本場の「逸品」は、彼女が開発した商品ではなく「仲間と、地域の素材を活用して、富士宮市発祥の『美』を喜んでもらえる商品づくりをして未来につなげていこう」という、情熱・心意気なのかもしれません。

(株)旭紙工所

〒418-0006 富士宮市外神2191-1
TEL: 0544-58-2822
URL: <http://www.asahisiko.co.jp>

創業 1962年

社員数 120名

入会年月 2013年10月

事業内容 紙の断裁・巻取、包装、
選別、検品

取材・記事: 田邊 元裕氏
(南)カボタメディアワークス・富士宮支部
取材: 阿久澤 太郎氏
(株)東海製蠟・富士宮支部
稲原 研氏
(松屋電気商会・富士宮支部)
西鉢 亮貴氏
(株)富士ドリムレージ・富士宮支部
望月 知洋氏
(エムスタイル・富士宮支部)
渡邊 卓氏(株)丸繁・富士宮支部

会員訪問記

苦難を乗り越えて

駿遠三菱自動車販売(株)
常務取締役 大畑 勝慶氏 (志太支部)



お客様感謝のイベントが終わり充実の一枚
大畑氏（前列右から二番目）と社員の皆さん

近年の苦難と後継者として

駿遠三菱自動車販売(株)は三菱自動車のパジェロやランサーなど一時代を築いた1970年代にディーラー権を獲得した大畑氏の祖父が創業しました。現在、血縁は社長である父と大畑氏の二人です。最盛期には静岡県中部に4店舗を構えていましたが、三菱自動車の販売店はメーカーの不祥事の影響を受け近年は苦難の道を歩きます。同社もそのたびに社員が退社し店舗を閉鎖することの繰り返しで、現在は本社の店舗のみでの営業に至っています。常務である大畑氏が入社したのは2008年。他メーカーの自動車の販売を3年経験したころでした。当時は営業スタッフとして「社長の息子だから甘やかされていると思われぬように必死だった」と言います。

経営者としての成長を目指し
同友会へ入会

5年ほど経って経営陣としての仕事も任せられ始めたころ、新しいチャレンジが社員に受け入れられず悩みました。さらに、2016年にはメーカーの不祥事がきっかけで、若い社員の退社が相次ぎます。社員一人ひとりと会話する時間を作り会話を重ねる中で、大畑氏は理想のリーダー像を探し求めました。数々のセミ



手作りのイベントは大盛況

ナーや研修会に参加し、経営コンサルタントの勉強会にも参加しましたが、教えてくれるのは小手先のテクニクばかり。自問自答しながら行きついたのは、経営者自らが徳を積み成長すること。そんな意識になったころ、齋藤周氏（沼津三菱自動車販売(株)・沼津支部）から中小企業家同友会という存在を教えてもらったのがきっかけで2018年に入会しました。

働きがい・生きがいを感じる
職場づくり

昨年には、長らく休止していたお客様感謝のイベントを復活させました。お客様への感謝を伝えることが当初の目的だったようですが、営業、事務、整備の各部署の社員がミーティングを重ね創意工夫していくプロセスは、社員の働きがい・生きがいを見直す良いきっかけになったと大畑氏は話します。今年もそろそろ準備に入る時期ですが、昨年以上のものを創るために社員が意見を出しあって



新発売の軽自動車にも試乗



大畑 勝慶氏(中央)

駿遠三菱自動車販売(株)

〒426-0005 藤枝市水守1-19-34
TEL : 054-643-5333
URL : <http://www.s-mitsubishi.com/>

設立 1978年
社員数 28名
入会年月 2018年2月
事業内容 自動車の販売、修理、車検、損害保険の販売

取材・記事：村松繁氏
(保険アイマーク(株)・志太支部)
取材：宮本浩氏
(大栄工業(株)・志太支部)

くれると期待を寄せています。今後について大畑氏は「ともに働く社員が人として成長し、働きがいを感じてくれる職場であり続けるには、自分自身がもっと成長する必要がある。地道な努力を積み重ねて視野を広げていくためにも、同友会活動にも継続して関わってきたい」と話してくれました。

静岡県中小企業家同友会 第46回定時総会

5月10日(金) クーポール会館

5月10日(金) クーポール会館にて第46回定時総会が開催されました。出席者127名、ご来賓に杉山俊博氏(静岡県経済産業部商工業局長)、石井潔氏(静岡大学学長)、山崎正晴氏(財務省東海財務局静岡財務事務所長)、山本義彦氏(静岡大学名誉教授・静岡同友会顧問)、中村英之氏(島田信用金庫常務理事)をお招きしました。

遠藤一秀会長(遠藤科学株)の挨拶ののち、杉山俊博氏からは「2018年度に策定した静岡県経済産業ビジョン2018〜2021に基づき、中小・小規模企業が生涯にわたって事業を継続できるように、伴走型の支援を引き続き展開していく」、石井潔氏からは「今後は静岡大学として、静岡と浜松のキャンパス間の連携だけでなく、県内大学や医学官も含めた連携を模索していきたい」、山崎正晴氏からは「静岡同友会との連携がはじまって約3年になるが、同友会の根幹である経営指針に基づく企業づくりには非常に感銘を受けてい



杉山 俊博氏



石井 潔氏



山崎 正晴氏

る」とご祝辞頂きました。また、中同協会長の広浜泰久氏から「同友会運動に誇りと確信を持ち、全国のすみずみで魅力ある企業づくりの取り組みを強めよう」との祝電を頂戴しました。



会員増強チャンピオンの表彰を行いました!

(左) 鈴木 徹氏(株)鈴木土建・榛南支部)、(右) 宇佐美 健介氏(有エージェンとうさみ・富士宮支部)

総会議事では井上代表理事から本年度の活動方針が述べられ、企業づくりでは経営指針に基づく人が生きる企業づくりと、共に育つ企業風土を確立し時代の変化に対応できる強靱な企業を目指すこと、地域づくり・経営環境づくりでは中小企業振興基本条例の学習と、関係機関との連携強化を推進し地域づくりの推進役を目指すこと、同友会づくりでは、1200名会勢の早期達成、活力ある同友会づくり、同友会理念を実践で語る会員を増やすことを基にし、企業づくりと同友会運動を一体のものとして前進させていくことが確認されました。

(議事終了後に行われた実践報告については下段に掲載しています。)

第46回定時総会記念講演 「福岡同友会福友支部 増強実践報告」

18年間も 毎月 連続入会を続ける福友支部の
明るく、楽しい、活力ある支部活動の実践

報告者 山田 秀樹氏

(日本ビルケア株) 代表取締役/福岡同友会

私の所属する福岡同友会の福友支部では18年間、毎月必ず入会者を出し続けています。会員増強を進めるために、福友支部では入会候補者(ゲスト) 向けの行事である「知る会」を毎月開催しています。「知る会」の特長の1つは、ゲストを主役にしたホームな雰囲気で行うことです。福友支部は女性会員が24%と多く、女性会員の力を活かした和気あいあいとした雰囲気です。ゲストをお迎えし、バズセッションでもゲストを中心に悩みを聞き、懇親会でさらに深堀りします。よく「エネルギーがすごい」と言われるくらい、活気にあふれています。2つ目に、動員・フォローなどの役割分担がしっかりしていることです。福友支部は340名以上の会員を30〜40名ごとのブロックに分け、それぞれに「仲

間づくりリーダー」を置いています。「知る会」の動員は毎月ブロックごと持ちまわりで担当しており、ゲストフォロー担当者の割り振り、「知る会」翌日のゲストへの連絡と訪問、入会の手続きまで、リーダーを中心に各ブロックの会員が自ら行います。仕組みをつくることも重要ですが、会員増強を進めるために本質的に必要なことは「意思の継承と文化」です。「仲間づくりは地域づくりであり、会社や社員家族を幸せにできる!」「新しい会員は支部の知の幅を広げてくれる辞書の一頁である」先人達の弛まぬ熱意と、日々の研鑽の元で増強の意思が承継され続けてきたからこそ、今の姿があります。皆さまと共に同友会の運動を重ねていきましょう!



山田 秀樹氏

日本ビルケア株

設立 2001年

社員 20名

所在地 福岡市博多区神屋町4-5

業種 建築工事請負業(ビル建造

物の外壁改修に特化)

第33回 中同協役員研修会を静岡で開催！

全国各地から184名が参加し、同友会のリーダーとしての学びを深める

5月23日(木)・24日(金) ホテルセンチュリー静岡 参加…184名

5月23日(木)～24日(金)の2日間、ホテルセンチュリー静岡にて中小企業家同友会全国協議会(以下、中同協)が主催する第33回中同協役員研修会が開催されました。全国各地から184名の参加があり、同友会の歴史や理念、今後の課題と展望など、同友会運動を推進していくリーダーとしての学びを深めました。

研修会初日は加藤明彦氏(中同協副会長/エイベックス㈱・愛知同友会)の挨拶で開会し、第一講は国吉昌晴中同協顧問より同友会の歴史と理念について、また「中小企業家」の「家」に込められた思いを、当時の様子を振り返りながらお話いただきました。グループ討論では「中小企業家の誇りと使命とは？」をテーマに、自社の地域における役割や中小企業家としてのように社員や地域と向き合っていくかを話し合いました。

続いての第二講では、中山英敬氏(中同協幹事長/㈱ヒューマンライフ・福岡同友会)より、自社での経験を振り返りながら、労使見解に基づく企業づくりや人を生かす経営についてお話いただきました。グループ討論では「人を生かす経営」で

同友会らしい黒字企業をつくるには？」をテーマに、それぞれが同友会での学びをどのように自社で実践しているかを話し合いました。第二講終了後に開催された懇親会では各県からの参加者が登壇し、各県の現状や当日の学びを振り返る時間となりました。

2日目の第三講では、広浜泰久氏(中同協会長/㈱ヒロハマ・千葉同友会)より、チェックリストや同友会理念と同友会運動の到達点の基準となるマトリックスを用いて、同友会運動とその推進のリーダーとなる役員の役割についてお話いただきました。グループ討論では「あなたは会運動をどう広げていきますか？(増強)」をテーマに、同友会理念を實踐で語れる会員を増やすことで、会運動の広がりに繋がることを確認されました。最後に井上斉氏(静岡同友会代表理事/ワシロロック工業㈱・静岡支部)より「同友会での学びと実践を仲間づくりに繋げていくことが役員としての運動である」との総括で2日間の役員研修会は終了となりました。

(当日の参加者から各講の感想をいただきましたのでご紹介します。)

第一講

同友会の歴史と理念

講師：国吉昌晴氏(中同協顧問)

「現在の立ち位置を考えるために歴史を学ぶ」の言葉から始まり、「中同協50年史」の編纂に関わって感じたこと、同友会の発足から高度成長期、オイルショック、バブル景気、リーマンショック、そして全国5万名会員目標の現在まで同友会の歴史を紐解きながら、あつという間の70分でした。同友会は「中小企業家の中小企業家による中小企業家のためのものであること」との宣言のもとに設立され、自主・民主・連帯の精神、3つの目的、労使見解、中小企業振興基本条例の制定そして経営指針の成文化など、他団体にはない理念を掲げ、学びあいと共育ちを實踐してきました。

私は「中小企業家・同友会」と「家」を入れることで、企業ではなく経営者個人が対象となり対等・平等になる、その意義は大きいと話されたことが



特に印象に残りました。同友会の精神が「家」の一字に詰まっているような気がします。

グループ討論では「中小企業家の誇りと使命」につ

いて話し合いました。その中で歴史の大切さが話題となり、会社年表の大事さ、現在の自社の立ち位置はどうなのか、過去の歴史に学ばなければ未来が描けない、経営指針書を作るには欠かせないと皆が感じていました。その後の補足報告で、中小企業は社会の中心でありインフラであると締めくくりました。今、私たちがこうして学べるのは、先人たちの大きな努力のおかげだと感じ、さらに発展させたいと改めて、自覚を持ち、多くの人にその良さを知っていただく為に、同友会運動を推進していこうと思いました。

伊藤博之氏(天母銅業㈱・富士支部長)



国吉 昌晴氏

今年度開催 予定の 全国行事

7月4～5日	中同協第51回定時総会in東京
8月29～30日	2019経営労働問題全国交流会in岩手
9月12～13日	第47回青年経営者全国交流会in熊本
10月10～11日	中同協第34回役員研修会in秋田

第二講

「労使見解」に基づく企業づくりに取り組み、 「人を生かす経営」の輪を地域に広げよう

講師：中山 英敬氏

(中同協幹事長／(株)ヒューマンライフ 代表取締役)



中山 英敬氏

第二講では中山氏の会社立ち上げから現在までの話を聞きました。事業内容は健康食品に特化した、コールセンター業務の受託をしています。報告の中で、心にグツとくるエピソードがありました。社員の子供が怪我をして早退したことを聞き、翌日にその社員を気づかい「子供の具合はどうだい。家庭が仕事より優先だから、早退してもいいよ」と声をかけたところ、社員たちの社長の見方や仕事に対する姿勢が前向きに変わったそうです。また、大きな失敗をした時、社内で中山氏が謝罪する姿を見て、各リーダーたちも失敗の責任を果たす決意をし、自分たちで決めた目標に向けて2年間取り組み、目標を達成しました。その結果、社

員自ら理念の学習をしたという要望が出るような自主性が生まれたと言います。だからこそ、中山氏は経営指針を作成しても社員の自主性が出ないという話に対しては「社員の自主性が無くては、会社の業績も伸びない」と伝えていくそうです。この話から、経営者と社員との信頼関係なしでは自主性は生まれないということを学びました。

今回の研修会から、自社の中で明日から出来る取り組みも見つかりました。同友会活動に関しては、始めに委員会メンバーとの関係性を育んでいこうと思いました。次に、委員会内で活動計画を作成して、話し合いながら実践と検証をしていこうと考えました。取り組む活動内容はここでは書きませんが、楽しい委員会創りをしていきます。ぜひ共育委員会で共に学び、共に実践していきましょう。

野川和三氏 (株)野川商店・県共育委員長

第三講

同友会運動と役員の役割

講師：広浜 泰久氏

(中同協会長／(株)ヒロハマ 会長)



広浜 泰久氏

まず、「同友会理念」と「同友会運動(実践)」の到達点という、マトリックスの完成度に度肝を抜かれました。これほど「同友会3つの目的」と「自主、民主、連帯の精神」そして「国民や地域と共に歩む中小企業」という同友会理念のそれぞれがかみ合い、相互作用していることに驚きました。同友会活動を、常に研究し理解を深めようとしている広浜氏の思い、そしていかにこの理念に基づく活動を広めていこうとしているかが伝わってきました。「自社だけが良くなっても地域が荒んでは意味がない、すべての中小企業が良くならなければ、日本が良くなれない」という言葉には感動すると同時に、自分はまだまだ理解できていない点が多かったと反省しました。

をどう広げていきますか? というテーマについては、やはり各県で増強のやり方や考え方も異なります。しかし、増強の必要性は一致していますし、質と量は比例しているという見解も一致していると確認できました。それぞれ、会員の各自の経営に重点を置くところ、地域の活性化に重点を置くところと様々ではありますが、やはり経営指針成文化を社員と共にすることが最も重要な同友会活動であり、結果的に会運動を広げることが繋がるのではないかと思います。今回の学びを支部長としてどのように実践に繋げるかを考えていきます。

前日まで参加できるか不安ではありましたが、社員のおかげで参加できことに感謝しありません。また、この静岡の地で役員研修会を開催して頂いたことを大変ありがたく思います。設営に関わって下さった皆様、本当にありがとうございます。

大戸利之氏 (有)大戸化成・静岡支部長

今年度開催 予定の 全国行事

10月17～18日	第20回障害者問題全国交流会in滋賀
11月28～29日	第29回社員教育活動全国研修交流会in岡山
2020年2月13～14日	第50回中小企業問題全国研究集会in京都
ぜひ積極的に全国大会へ参加しましょう！	

6月・7月

DOYU CALENDAR

6月16日(日)～7月15日(月・祝)

6月 17日(月)	組織増強委員会(東部)(19:00 プラサヴェルデ) 第16期経営指針を創る会②(19:00 同友会会議室)
18日(火)	中遠・浜松合同例会(グループ長例会) (19:00 こども館(ザザ中央館)5階)
19日(水)	志太例会(県障がい者問題委員会) (18:30 藤枝文化センター)
20日(木)	伊東例会(19:00 ひぐらし会館) 富士・富士宮合同例会(18:30 樟泉閣) 榛南例会(18:45 さざんか)
21日(金)	沼津例会(19:00 沼津商工会議所4F)
24日(月)	三島例会(19:00 三島商工会議所3F)
26日(水)	県理事会(17:00 同友会事務局) 政策委員会(19:00 同友会事務局)
27日(木)	景況調査 記者発表 (9:30 静岡市葵区役所1階ロビー)

《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

28日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」 (19:00 同友会事務局)
7月 2日(火)	第16期経営指針を創る会③ (19:00 同友会事務局)
4日(木)～ 5日(金)	第51回中同協定時総会in東京 (13:00 同友会事務局)
9日(火)	静岡例会(19:00 静岡ペガサート6F)
10日(水)	御殿場例会 (19:00 エピスクエア) 正副代表理事会 (17:00 同友会事務局)
12日(金)	組織増強委員会(中・西部) (19:00 同友会事務局) 富士宮例会(19:00 志ほ川パイパス店)



仲間と共に指針の成文化へ

～第16期経営指針を創る会 開講！～

6月1日(土)～2日(日)に静岡ホテル時之栖にて第16期経営指針を創る会(以下、創る会)の第一講を開催しました。これから12月までの約7ヶ月をかけ、自社の歴史や自分の想いと向き合いながら経営指針を成文化していきます。今回の第一講では受講生とスタッフがお互いを知ることに加え、同友会の本質を学び合うことを目的に一泊研修を実施しました。

1日目は自己紹介に始まり、秋山和孝氏(株アイソー・沼津支部)、山崎かおり氏(株山崎製作所・静岡支部)より指針成文化の実践と成果の報告、2日目には遠藤健正氏(南大橋商事・中遠支部)より「労使見解」の報告を行いました。各報告の後にはグループ討論を行い、同友会が提唱する経営指針の原点を学び合いました。



障がい者問題委員会 中部関係機関との意見交換会を開催！

5月17日(金) 静岡県男女共同参画センター あざれあ 502会議室 参加：23名



障がい者問題委員会では、障がい者理解・障がい者就労の促進、就労困難者の支援、「人を生かす経営」の実現による障がい者含めてすべての人が生き生きと働くことのできる社会の実現を方針としています。その一環として、5月17日(金)静岡県男女共同参画センターあざれあで中部地区関係機関との意見交換会を行いました。当日は特別支援学校教諭や行政担当者、ボランティア団体にご参加いただき、障がい者雇用や障がい者理解、就労困難者の雇用に関する支援やサポートなどについてグループ討論を行いました。同友会会員からは「関係機関の方に何を行ってほしいか？」関係機関の方からは「中小企業の経営者には、どのようなことを行ってほしいか？」などの意見が挙がり、有意義な時間となりました。今回挙げた

意見の実践が「人を生かす経営」の実現につながり、ひいては企業の成長に繋がると感じます。今後はますます多くの皆さんに参加していただき、共に成長できればと思います。今後の委員会開催予定ですが、6月19日(水)に藤枝市文化センターにて志太支部例会と合同で行います。また7月は東部関係機関との意見交換会を19日(金)に沼津市のプラサヴェルデにて行います。ぜひご参加ください。

原田 昌樹氏(株アレミティ・静岡支部)



静岡同友会
Facebookページ



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください！